



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月26日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山尾 康二
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画担当部長 (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,649	△5.8	2,341	△59.8	3,182	△50.3	2,436	△46.3
2023年3月期第2四半期	38,890	48.0	5,823	122.0	6,406	148.0	4,536	142.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 2,410百万円 (△47.4%) 2023年3月期第2四半期 4,582百万円 (148.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	34.24	—
2023年3月期第2四半期	63.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	116,833	54,339	46.4
2023年3月期	111,429	53,281	47.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 54,204百万円 2023年3月期 53,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	11.00	—	19.00	30.00
2024年3月期	—	6.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	14.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 11円00銭 記念配当 3円00銭 (創立70周年記念配当)

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,700	0.4	4,800	△55.1	5,000	△52.5	4,100	△45.4	57.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日 (2023年10月26日) 公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	71,270,910株	2023年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	98,636株	2023年3月期	98,590株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	71,172,287株	2023年3月期2Q	71,172,544株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料、決算説明会内容の入手方法）

・決算説明会は、2023年11月10日に開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費が堅調に推移し回復が継続する一方、物価上昇の影響で景気の持ち直しには一服感が見られました。

世界経済は、一部地域での減速が確認されており、インフレ抑制のための各国中央銀行による政策金利の引き上げが景気回復の下振れ要因となりました。長期化する世界的な金融引き締めの影響や、中国経済の先行き懸念などの海外経済の減速による下振れ要因に加え、物価上昇を背景とする個人消費の落ち込みやコスト高による設備投資の抑制等により景気回復ペースの鈍化が懸念されています。

当社グループを取り巻く事業環境は、チタン事業においては航空機向け需要の回復に加えウクライナ紛争に起因するロシアからの調達回避もあり、主なチタン製品の販売は引き続き堅調に推移した一方、一部半導体向けチタン製品や触媒・化学品事業においては海外の景気低迷長期化により販売は低調に推移しました。コスト面では、為替円安による収益改善の効果はあるものの、輸入原材料・副資材コストの高止まりが、収益を大きく圧迫する要因となりました。

こうした中、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高366億49百万円(前年同期比5.8%減)、営業利益23億41百万円(同59.8%減)、経常利益31億82百万円(同50.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益24億36百万円(同46.3%減)となりました。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

金属チタン事業

当第2四半期連結累計期間における金属チタンの販売は、航空機向け、一般産業用途向け需要は引き続き堅調に推移したものの、前期まで寄与していた製品在庫の取崩しが一巡したことに加え、半導体向け高純度チタンの需要減速により、販売量は前年同期を下回る水準となりました。収益面については、販売価格是正はあるものの、販売量の減少に加え、原料鉱石、電力価格及び副資材費の高騰によるコスト上昇の顕在化を主因に、同期間の金属チタン事業は、売上高は274億1百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は13億18百万円(同62.0%減)となりました。

触媒事業

当第2四半期連結累計期間における触媒事業の販売は、アジア及び欧州におけるポリオレフィン用触媒の需要軟化により、販売量は前年同期を大幅に下回る水準となりました。

こうした状況に加え、新工場稼働による固定費増の影響もあり、同期間の触媒事業は、売上高は35億69百万円(前年同期比18.3%減)、営業利益は10億32百万円(同37.1%減)となりました。

化学品事業

当第2四半期連結累計期間における化学品事業の販売は、米国の利上げや中国の経済停滞長期化の影響に伴い、主要製品である超微粉ニッケルの主な用途である積層セラミックコンデンサー(MLCC)の需要減少が継続していることから、販売量は前年同期を下回る水準となりました。加えて原材料・資材・ユーティリティ類の値上がりの影響等により、同期間の化学品事業は、売上高は56億79百万円(前年同期比27.6%減)、営業利益は7億84百万円(同40.3%減)となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区分	2024年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	27,401	26,682	2.7%
触媒事業	3,569	4,368	△18.3%
化学品事業	5,679	7,839	△27.6%
合計	36,649	38,890	△5.8%

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区分	2024年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	増減率
金属チタン事業	1,318	3,469	△62.0%
触媒事業	1,032	1,640	△37.1%
化学品事業	784	1,313	△40.3%
全社費用	△794	△600	—
合計	2,341	5,823	△59.8%

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末比54億4百万円増の1,168億33百万円となりました。

負債の部は、借入金の増加を主因に、前連結会計年度末比43億46百万円増の624億93百万円となりました。

純資産の部は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比10億58百万円増の543億39百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.7%から46.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は37億68百万円と期首に比べ3億52百万円の増加となりました。キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、19億28百万円の支出となりました。これは減価償却費36億52百万円、仕入債務の増加6億19百万円の資金増加要因の一方で、棚卸資産の増加80億15百万円等の資金減少要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、32億34百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出32億3百万円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、55億21百万円の収入となりました。これは借入金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、2023年5月8日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正致しました。詳細につきましては、本日(2023年10月26日)公表の「2024年3月期 第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,416	3,768
受取手形及び売掛金	15,338	12,980
電子記録債権	117	218
商品及び製品	19,089	28,533
仕掛品	9,904	9,150
原材料及び貯蔵品	13,203	12,529
未収入金	812	665
その他	1,175	1,343
貸倒引当金	△64	-
流動資産合計	62,992	69,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,655	15,399
機械装置及び運搬具（純額）	21,794	19,777
工具、器具及び備品（純額）	360	376
土地	2,449	2,449
リース資産（純額）	1,795	1,696
建設仮勘定	3,141	5,153
有形固定資産合計	45,196	44,853
無形固定資産		
ソフトウェア	1,005	916
ソフトウェア仮勘定	-	45
その他	23	19
無形固定資産合計	1,028	981
投資その他の資産		
関係会社株式	214	218
繰延税金資産	925	492
退職給付に係る資産	439	436
その他	633	664
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,211	1,809
固定資産合計	48,436	47,644
資産合計	111,429	116,833

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,932	4,570
短期借入金	22,458	31,388
リース債務	211	209
未払法人税等	2,257	568
賞与引当金	2,040	988
役員賞与引当金	301	66
その他	2,962	2,757
流動負債合計	34,165	40,548
固定負債		
長期借入金	20,314	18,365
リース債務	1,612	1,508
資産除去債務	2,055	2,072
固定負債合計	23,982	21,945
負債合計	58,147	62,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	28,469	29,554
自己株式	△77	△77
株主資本合計	53,378	54,462
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	40	-
為替換算調整勘定	△396	△369
退職給付に係る調整累計額	124	111
その他の包括利益累計額合計	△231	△257
非支配株主持分	134	134
純資産合計	53,281	54,339
負債純資産合計	111,429	116,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	38,890	36,649
売上原価	27,610	29,688
売上総利益	11,279	6,961
販売費及び一般管理費	5,455	4,619
営業利益	5,823	2,341
営業外収益		
為替差益	627	927
物品売却益	20	17
持分法による投資利益	5	8
その他	18	40
営業外収益合計	673	994
営業外費用		
支払利息	83	102
その他	6	50
営業外費用合計	90	152
経常利益	6,406	3,182
特別利益		
固定資産売却益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産除却損	4	24
特別損失合計	4	24
税金等調整前四半期純利益	6,402	3,158
法人税、住民税及び事業税	871	262
法人税等調整額	994	459
法人税等合計	1,866	721
四半期純利益	4,536	2,436
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,536	2,436

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	4,536	2,436
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	9	△40
為替換算調整勘定	50	26
退職給付に係る調整額	△14	△12
その他の包括利益合計	45	△26
四半期包括利益	4,582	2,410
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,582	2,410
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,402	3,158
減価償却費	3,190	3,652
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△114	△1,052
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△4	2
受取利息及び受取配当金	△1	△0
支払利息	83	102
持分法による投資損益 (△は益)	△5	△8
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	-
固定資産除却損	4	24
売上債権の増減額 (△は増加)	△439	2,257
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,062	△8,015
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,284	619
未収入金の増減額 (△は増加)	160	146
その他	△321	△868
小計	9,175	18
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△84	△102
法人税等の支払額	△307	△1,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,790	△1,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,849	△3,203
有形固定資産の売却による収入	1	-
無形固定資産の取得による支出	△25	△29
補助金の受取額	133	-
その他	0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,739	△3,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,100	8,900
長期借入金の返済による支出	△1,252	△1,919
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△230	△106
配当金の支払額	△640	△1,352
非支配株主への配当金の支払額	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,225	5,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	50	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,875	352
現金及び現金同等物の期首残高	2,128	3,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,003	3,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,682	4,368	7,839	38,890	—	38,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,045	—	2	1,047	△1,047	—
計	27,728	4,368	7,842	39,938	△1,047	38,890
セグメント利益	3,469	1,640	1,313	6,423	△600	5,823

(注) 1. セグメント利益の調整額△600百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	27,401	3,569	5,679	36,649	—	36,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,135	—	3	1,139	△1,139	—
計	28,537	3,569	5,683	37,789	△1,139	36,649
セグメント利益	1,318	1,032	784	3,136	△794	2,341

(注) 1. セグメント利益の調整額△794百万円は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業の創出・推進のための研究開発費及びこれらに関わる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。